

鶴見大学紀要

第 55 号

第 1 部 日本語・日本文学編

目 次

毀誉褒貶の光源氏

——『源氏物語』の読者—— ……………奥村英司 (1)

「お竹大日」伝承の生成

——開帳縁起と出羽三山信仰、名所記を通じて……………神林尚子 (15)

鶴見大学図書館蔵清輔奥書本『和歌一字抄』翻刻 ……………伊倉史人 (47)

『中書王御詠』注釈稿 (三) ……………中川博夫 (111)

聊齋志異小考 ……………田中智幸 (259)

鶴見大学紀要投稿規定 …………… (左 5)

〔彙報〕……………教員研究業績一覧 (左 1)

鶴 見 大 学

2018 年 3 月 (平成 30 年 3 月)

鶴見大学紀要

第 55 号

第 1 部 日本語・日本文学編

鶴 見 大 学

〔彙 報〕

教員研究業績一覧（2017・1～2017・12）

伊 倉 史 人

- [研究発表] (平成29年5月20日・
『和歌一字抄』原撰本の成立 和歌文学会・於日本
一鶴見大学図書館蔵清輔奥書本の紹介と考察— 女子大学)

片 山 倫太郎

- インタビュー「川端康成と湯ヶ島」土屋晃氏 (『川端文学への視界
(湯本館取締役社長) 32』2017.7 pp.8-20)
川端康成における官能と宗教の原点と再帰 (『国語と国文学』第
—草稿「湯ヶ島での思ひ出」を中心に— 94巻第9号 2017.9
pp.53-70)

久保木 秀 夫

- 『永徳百首』正親町三条実継詠・草稿本一巻及 『語文』（日本大学）
び清書本断簡 158 2017・6
—足利義尚『文明打聞』ほかに関する歌壇資料—
日々は探索～古筆切・写本・たまに版本～ 『日本文学研究ジャー
第1回 西行・寂蓮の「新出」歌？ ナル』2～4
—伝光顕画・伝後光厳院筆『西行物語絵巻』断簡— 2017・6・9・12
第2回 『枕草子』の古筆切
第3回 仮名書き『往生要集』断簡
—恵心僧都源信関連資料その一—
『伊勢物語』武田本再評価 『文学・語学』221
2017・12

教員研究業績一覧

新 沢 典 子

〔口頭発表〕

「万葉集終焉歌の主題」

上代文学会1月例会・於専修大学、
2017年1月21日。

〔論文〕

「むまのはなむけ」

『日本文学』
(日本文学協会)
第六六卷第六号、
2017年6月。

〔著書〕

『万葉歌に映る古代和歌史 大伴家持・表現と
編纂の交点』

笠間書院、
2017年10月。

高 田 信 敬

真名序のかたち

一了佐切から一

『顕伝明名録』索引(石澤一志氏と共編)

尾形月耕の工夫

『鶴見日本文学会報』80
2017・3

『国文鶴見』51
2017・3

『むらさき』54
2017・12

中 川 博 夫

『中書王御詠』注釈稿(二)

僧正公朝の和歌注釈稿(三)

なんだこの歌は

『鶴見大学紀要』
(日本語・日本文学)
54

2017・3

『鶴見日本文学』21
2017・3

『三田評論』1213
2017・7

松本文子

〔論文〕 2017 平成 29 年 3 月
「木下右衛門大夫の「右衛門切」か—了廬孫、
恒川経二郎の模写を手がかりに—」 『国文鶴見』 51
(25 ~ 48 頁)

〔資料〕 2017 平成 29 年 3 月
「小笹喜三手稿本『〔仮題〕提覧平安人物志稿』
第七冊「鑑古筆家」収載人物について」 『鶴見日本文学』 21
(113 ~ 136 頁)

〔論文〕 2017 平成 29 年 3 月
共著 松本文子・田村南海子 『鶴見大学紀要』 54
「書道実技自習課題「硬筆プリント」作成—中学
(第 4 部) (95 ~ 124
校国語書写の指導者をめざす大学生のために—」
頁、担当部分は 95 ~
106 頁上半分と 113
~ 122 頁)

【作品発表】

〔協賛出品〕 2017 平成 29 年 2 月
「人の一生は」(『東照公遺訓』)
7 日~ 12 日
名古屋市博物館ギャ
ラリー
愛知教育大学書道専
攻一四期生・書友会
卒展 OB 協賛作品展

〔賛助出品〕 2017 平成 29 年 3 月
「三十路をば越していよゝゝ自らの愛づべきを知
り黒髪を梳く」(与謝野晶子『春泥集』)
14 日~ 15 日
鶴見大学会館 1 階セ
ンタープラザ
鶴見大学文学部日本
文学科第 51 期書道
履修生卒展

教員研究業績一覧

〔賛助出品〕	2017 平成 29 年 10 月
「等毛之火能比可里尔見由流左由理婆奈由利毛	21 日～ 22 日
安波牟等於母比曾米弓伎／左由理婆奈由里毛安	鶴見大学 1 号館 303
波牟等於毛倍許曾伊未能麻左可母宇流波之美須	教室
礼」(『万葉集』卷 18 より二首)	鶴見大学第 53 回紫 雲祭書道部展示

鶴見大学紀要投稿規程

(趣旨)

第1条 鶴見大学（以下「大学」という。）および鶴見大学短期大学部（以下「短期大学部」という。）において研究または教育に従事する者の成果を紀要に公表することについて定めるものである。

(投稿資格)

第2条 紀要に投稿できる者は、原則として、大学および短期大学部において研究または教育に従事する者およびこれと共同で研究に従事する者とする。

(投稿原稿)

第3条 原稿は、未刊行のものに限る。定期刊行物（学術雑誌、商業雑誌、大学・研究所紀要など）や単行本として既刊、あるいは、これらに投稿中の原稿は本紀要に投稿できない。ただし、学会発表抄録や科学研究費などの研究報告書はその限りではない。

(紀要の部編)

第4条 紀要の部編は4種類とし、その邦文及び欧文の標題は次のとおりとする。

- 一 鶴見大学紀要 第1部（日本語・日本文学編）
THE BULLETIN OF TSURUMI UNIVERSITY PART 1
(STUDIES IN JAPANESE LANGUAGE AND LITERATURE)
- 二 鶴見大学紀要 第2部（外国語・外国文学編）
THE BULLETIN OF TSURUMI UNIVERSITY PART 2
(STUDIES IN FOREIGN LANGUAGES AND LITERATURE)
- 三 鶴見大学紀要 第3部（保育・歯科衛生編）
THE BULLETIN OF TSURUMI UNIVERSITY PART 3

(STUDIES IN INFANT EDUCATION AND DENTAL
HYGIENE)

四 鶴見大学紀要 第4部 (人文・社会・自然科学編)

THE BULLETIN OF TSURUMI UNIVERSITY PART 4
(STUDIES IN HUMANITIES, SOCIAL AND NATURAL
SCIENCES)

(発行の回数)

第5条 紀要は、年度内に1回発行することを原則とし、その時期は年度末3月とする。

(提出原稿)

第6条 原稿の作成は、紀要刊行内規で定められた投稿要綱に従うものとする。

(原稿の提出先)

第7条 原稿は、投稿する部編の紀要委員に提出するものとする。

(原稿の提出締切日)

第8条 原稿の提出締切日は、部編により別に定める。

(編集)

第9条 編集は、紀要委員会が行うものとする。

(別刷)

第10条 50部を超える別刷の費用は、著者が負担するものとする。

(著作権)

第11条 紀要の公開にともなう、複製権および公衆送信権に関わる著作権の行使は、原則として大学および短期大学部に帰属する。ただし、著者が自分の論文等を利用することは差し支えない。

二 論文等の全部あるいは大部分を他の著作物等に利用する場合には、その旨を大学および短期大学部に申し出ると共に、出典を明記する。また、一部分を利用する場合にも、文献あるいは図説の下に出典を明記する。

三 掲載された論文等の執筆内容が第三者の著作権を侵害するなどの

指摘がなされた場合には、著者がその責任を負う。

附 則 この規程は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

前 号 目 次

物語・夢・喪失

- 『更級日記』と読者—— 奥村英司
- 『中書王御詠』注釈稿（二） 中川博夫
- 鶴見大学紀要投稿規定
- 〔彙 報〕

本号執筆者一覧

- | | |
|------|----------------|
| 奥村英司 | (短期大学部准教授・国文学) |
| 神林尚子 | (文学部講師・国文学) |
| 伊倉史人 | (文学部教授・書誌学) |
| 中川博夫 | (文学部教授・国文学) |
| 田中智幸 | (文学部教授・漢文学) |

鶴見大学紀要 第五五号

第一部 日本語・日本文学編

二〇一八年三月一〇日 印刷
二〇一八年三月一五日 発行

発行人 大山 喬史

印刷所 三美印刷株式会社

116
0013 東京都荒川区西日暮里五十九一八

電・東京(3803)三二三一

発行所 鶴見大学

230
0063 横浜市鶴見区鶴見二一一三

電・横浜(045)581一〇〇二代

THE BULLETIN OF TSURUMI UNIVERSITY

VOLUME 55 PART 1

STUDIES IN JAPANESE LANGUAGE AND
LITERATURE

CONTENTS

OKUMURA, Eiji : "Hikaru-Genji" in Chapter "Aoi" of The Tale of Genji.

KAMBAYASHI, Naoko : The forming of the tale about *Otake-Dainichi* : approach
through the Kaichō-Engi pamphlets, Dewa-Sanzan faith
and the topography of Edo

IKURA, Fumito : Reprinting on *Waku-Ichijisho* : Catext of Tsurumi University Librry

NAKAGAWA, Hiroo : Preliminary Study of the *Chushoō Gyoei*, Part 3

TANAKA, Tomoyuki : My Thoughts on "Ryosaishii"

MARCH 2018